



「世界一 ^た田めになる学校 in 東京大学！」開催

～未来を担う子どもたちへ発信～

昨年度、国際生物多様性年関連事業として実施し、好評を得た「世界一 ^た田めになる学校 in 東京大学！」を本年も開催する。

宮城県大崎市、新潟県佐渡市、豊岡市の3市が、自然と共生するまちづくりを目指し、地域の水田とそこで育まれる小さな命の重要性や今後の農のあり方、子ども達の未来について考え、活動するきっかけとなる事業を実施するものである。

1. 趣旨・背景

- マガンと共に暮らす宮城県大崎市、トキの野生復帰に取り組む新潟県佐渡市、そしてコウノトリ野生復帰に取り組む本市は、これまでも様々な場面で、連携・交流を行ってきた。
- 特に、水田と子どもたちに関する分野における連携・交流は、各市が、未来志向の自然と共生するまちづくりを目指し、マガン・トキ・コウノトリの重要な生息地である水田を中心とした取組みを行ってきたことと相まって、盛んに行われてきた。
- 国際生物多様性年であった2010年に、各市が取り組んできた自然との共生、地域、とりわけ水田の生物多様性保全について、日本の未来に向けて、しっかりと発信するべきものとして、「世界一 田めになる学校 in 東京大学！」を初めて開催した。
- 国内最大の消費・情報発信の地である東京の多くの子どもたちとその保護者を集め、地域の水田と生物多様性の重要性や今後の農のあり方について訴えたことは、大きな反響を呼び、3市の取組みをアピールする重要な機会となった。
- 東日本大震災により多くの方々が被災している中、改めて命の尊さを考え、今年は、3市が目指す持続可能な地域社会を“田んぼ”から見つめ直す「足元からつながる命」をテーマに開催する。

2. 概要

(1) 日時

平成23年8月9日(火) 12:30～16:50

(2) 場所

東京大学弥生講堂 一条ホール(東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内)

(3) 内容

別紙チラシ「今日の時間割」のとおり

(4) 主催

宮城県大崎市、新潟県佐渡市、兵庫県豊岡市

(5) 後援

農林水産省、環境省、JA全農 ほか



(6) 協力

東京大学保全生態学研究室、宮城教育大学環境教育実践研究センター、パルシステム生活協同組合連合会、NPO 法人田んぼ、NPO 法人生物多様性農業支援センター、朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会、コウノトリ生息地保全協議会

(7) 参集者

300人 (昨年：283人)

- ・授業を受ける児童 15人程度
(大崎市、佐渡Kids生きもの調査隊、コウノトリKIDSクラブ)
- ・会場参加者 一般 200人 (首都圏の子どもとその保護者)
招待 80人 (マスコミ、環境NPO、学生等)

(8) 参加費

無料

(9) 参加者募集

- ①募集期間 7月1日(金)～8月2日(火)
- ②申込方法 下記(問合せと同じ)にメールまたはFAXにて申し込む。
※その他2市の申込み先は、大崎市(産業政策課自然共生推進係)、佐渡市(農林水産課生物多様性推進室)

[問合せ] 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課
Tel0796-21-9017 FAX0796-24-8101
e-mail kounotorikyousei@city.toyooka.lg.jp